



New Standard Literacy  
**Web寺子屋**

これから必要となる新しい標準的な教養

WEB寺子屋 BY TOIEE LAB

---

リテラシーの変遷

## 教養の変化

- ▶ 教養とは、何か？
- ▶ 読み・書き・そろばんは、何になったか？
- ▶ 忘れている知識水準の変化とは？
- ▶ 教養の新しいスタンダード（水準）は何なるか？
- ▶ 子育て、自分のキャリア、未来に向かって考える



KNOWLEDGE AND  
LITERACY

---

知識と教養

## 中世の教養

- ▶ 教養とは、飾りだった
- ▶ 貴族にとって、知識は飾り
- ▶ 知識を得るだけの努力、余裕、富
- ▶ 中国の科挙（試験）
- ▶ 日本でも漢文など
- ▶ 知識が「役立つもの」ではなかった

## 第1次・産業革命

- ▶ 錬金術（化学）が、染色に応用された
- ▶ 科学的な知識を「材料」に適用（材料工学の誕生）
- ▶ 道具には、まだ反映していない（昔の延長）
- ▶ 工場で労働集約的な働き方
- ▶ 働き方は、賢くない、努力するだけ

## 教養とは？

- ▶ 読み書きができたなら、多少は良いかも
- ▶ 相変わらず、装飾
- ▶ あるいは、崇高な営み
- ▶ 科学的知識 = 神に奉仕
- ▶ 日々の仕事に応用するものではない
- ▶ コンピュータも似たような経緯があった

## 第二次・産業革命

- ▶ フレデリック・テイラー
- ▶ 仕事に「知識」を適用
- ▶ 論理分析、統計分析、条件分析、仮説検証、定式化、標準化
- ▶ いわゆる「科学的」と言われるアプローチを適用
- ▶ マニュアル化
- ▶ 労働者が賢く働き、その報酬を得るべき（過激）

## トヨタ生産方式の凄さ

- ▶ フレデリックテイラーは、労働者も経営者も、さほど賢くないと思っていた
- ▶ トヨタ生産方式は、労働者が「自分で」フレデリック・テイラーをする
- ▶ さらに文化として、実行する状態を作る
- ▶ しかも柱も作った（ジャスト・イン・タイム、自動化、自工程完結）

# 教養とは

- ▶ 指示を理解できる必要がある
- ▶ 読み、書きが必要、直接役立つ
- ▶ 簡単な計算は必要（作業を必要とする）
- ▶ 読み書き、そろばんのようなもの

## 事務作業

- ▶ 工場労働の生産性が上がる
- ▶ 機械化が進む
- ▶ 事務作業が増えてくる
- ▶ ホワイトカラー労働者の登場
- ▶ 教養と、知識が近づいてきた
- ▶ 高等教育を受けた人々が増えてくる

# コンピュータの登場

- ▶ 事務作業にコンピュータが使われ始める
  - ▶ IBMの功績（科学技術計算にのみ使うべき崇高なコンピュータを給与計算に使う）
- ▶ 真剣に議論されたこと
  - ▶ 余暇をどうしたらいいか？
  - ▶ 面白い

# 知識労働者

- ▶ 大学で、高度な知識を身につける
- ▶ いわゆる学問を修める
- ▶ 工学、薬学、マーケティング、経営学、臨床心理学など
- ▶ それらを駆使して、仕事を行う（以前は医者ぐらい）
- ▶ 知識の差が、企業の競争力の差
- ▶ 個人の収入の差

# 知識社会になって久しい

- ▶ 今は、知識社会になって時間がたった
- ▶ この変化の激しい世界を細かくみる必要がある
- ▶ どのような変化があるのか？
- ▶ 現代をクローズアップしてみよう



LITERACY IN  
KNOWLEDGE SOCIETY

---

知識社会の  
教養

## 部署に1台、1人の専門技師

- ▶ ドラマ「長男の嫁（1994年）」
- ▶ 当時の変わりつつある時代を描写（嫁姑の関係、夫婦の関係、共働き）
- ▶ コンピューターが部署に1つだけ
- ▶ 専門の人材がいて、お願いをして書類を作ってもらう

## 全てのデスクトップどこるか・・・

- ▶ わずか数年後 2,000年には
- ▶ 全ての机の上にコンピューターが置かれる（マイクロソフト、ビルゲイツのビジョン）
- ▶ さらに、2010年には、iPhone。掌にコンピューター
- ▶ 2019年、全ての人の手にコンピューター  
腕にもコンピューター、家中・・・

# コンピューター教育の変遷

- ▶ 1997年 . . . 大学でWord、Excelを教える
- ▶ 2001年 . . . 中学生がPowerPointを触る
- ▶ 2019年 . . . 小学生がタブレットでプレゼン
- ▶ 2020年 . . . プログラミング
- ▶ つまり「どんどん、水準が上がっている」
- ▶ 高等数学も同じ変遷をしてきた

## 求められる教養 = 知識

- ▶ 昔の経営者の戸惑い
- ▶ 電話は、専門技師が使うもの
- ▶ 自分でとって、自分でかける
- ▶ 利点を説明することから、操作まで説明する
- ▶ 苦勞したらしい

## 求められる教養 = 知識

- ▶ コンピューター
  - ▶ 次々と、新しいアプリを使いこなせる
  - ▶ バージョンアップの利点を享受する
  - ▶ 仕事のために組織する
  - ▶ リマインダー
  - ▶ 自動化、連携、もしかしたらプログラミング
  - ▶ データベース
- ▶ KANBAN仕事術、週次レビュー、学習する組織を実行

# コンピュータで重要なこと

- ▶ 仕事に知識を適用
  - ▶ 仕事術、仕事術を科学的に分析
  - ▶ 科学的管理法を自分で適用
  - ▶ 仕事をカイゼンし続ける
- ▶ コンピュータを効果的に使う
  - ▶ なんでもコンピュータにしない
  - ▶ 無駄な自動化ではなく、成果を中心に、道具の1つとする

# 教養として必要なもの

- ▶ データベース
- ▶ データ処理とは何か？
- ▶ 自動化できるもの、自動化の限界
- ▶ コミュニケーションと情報共有
- ▶ ノイズについて
- ▶ 明示的な知識と、暗黙知

## 仕事に求められるもの

- ▶ マネジメント（科学的管理法から、現代の最新のもの）
- ▶ マーケティング（セールスではなく、学術的）
- ▶ イノベーション（理論、方法論、アプローチ、実務）
- ▶ 人間について（発達理論、学習方法、精神、心理）



PURPOSE OF  
WEBTERAKOYA

---

WEB寺子屋

## WEB寺子屋

- ▶ これからの未来に必要なもの
- ▶ 変わらない、長く使える根本的な知識、教養
- ▶ 最新の潮流の骨子、視点、アプローチ
- ▶ 様々な分野を理解することを助ける基盤知識（前提知識）
- ▶ デザイン、視覚表現など
- ▶ プロフェッショナルになるわけではないが、必要



New Standard Literacy  
**Web寺子屋**

これから必要となる新しい標準的な教養